

# 第89期 事業報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

## KOA株式会社



## KOAからのメッセージ

私たちは、「循環・有限・調和・豊かさ」を  
企業経営の価値観に置いています。



### 創業のビジョン 「農工一体」と「伊那谷に太陽を」

KOAは、かつて農村というコミュニティが崩壊していく中で、ひとりの青年が農村の生活基盤づくりと安定した暮らしをこの地で実現しようと興した会社です。以来、創業者の「伊那谷に太陽を」という夢をかなえるために、「農工一体」というビジョンをめざし、経営が実践されてきました。お百姓がお百姓として暮らしていける環境をつくる、それが創業当時の時代の声でした。

### 企業ミッション KOAを支える「5つの主体」との 信頼関係構築

そうした先人の意志を引き継ぎ、また今の時代の声に耳を傾けたとき、KOAは、株主様、お客様・お取引先様、地域社会、社員・家族、地球との信頼関係の構築に努めることを企業のミッションといたしました。KOAの経営は株主様をはじめとして、皆様とのお縁に恵まれ、お力添えをいただいで成り立っています。KOAは皆様とお近づきになれたことに感謝し、お付き合いの中で学ばせていただきながら、これらすべての主体にとっての企業価値を高めるため、企業活動に取り組んでいます。

### 企業経営の価値観 「循環・有限・調和・豊かさ」

企業という存在が、過去にないほど大きな影響力を全世界的に、そして地球規模でもつに至った現在、的確な時代認識の上立った経営・企業活動が求められていると私たちは考えます。20世紀は人口爆発に代表されるような「拡大・無限・征服・利便性」といった人類本位のコンセプトの時代であり、そうしたことのために人類のみならず地球上のあらゆる存在が存続の危機を迎えているのではないのでしょうか。そんな時代の切なる声に対して、私たちは「有限」の考えに立ち、人類を生かしてくれている地球環境とそこに生を受けたすべての生きとし生けるものとの調和を図り、拡大から循環、利便性から調和の中での豊かさを求めるべきではないかと考えます。KOAは企業経営の価値観を「循環・有限・調和・豊かさ」に置き、「地球あっての人類、人あっての経営」という空間（場）を、企業活動の中にできる限り設ける努力をしています。さまざまな人々のお縁あってこそKOAの経営が成り立つことを忘れずに、またその人類を生かしてくれている地球との調和を念頭にこれからも企業経営を進めてまいります。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第89期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）事業報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

KOAは今、将来の変化を予測しながらお客様と共に技術や製品において新たな価値を創造していく研究開発型企業を目指し、さまざまな取り組みを展開しています。

マーケットにおける将来の変化を予測する上で大事なキーワードとなるのが「ユビキタス」「サスティナビリティ」「人が生きる」だと私たちは考えています。すなわち、情報通信ネットワークにいつでもどこからでも当たり前前にアクセスできる環境（ユビキタス）の構築や、世界の人口が増え続け、超高齢化が進む中で、人がいきいきと生きていくためにますます必要とされる医療など（人が生きる）への貢献、それと、持続可能性（サスティナビリティ）の追求。これらの分野で予測される将来の変化をいかに見極めるかが、今後の技術、製品開発では重要と考えています。

特に、サステナブルな社会の構築に向けた製品では、省エネ・省資源に関連した製品のほか、最近「長寿命」製品への関心が高まりを見せていて、過酷な環境での使用にも耐えられる長期信頼性が欠かせなくなっています。例えば、自動車は以前には考えられなかった「20年、30万キロ走行」保証という高信頼性が強く求められています。また、産業機器や情報機器、家電などについても、長期信頼性の要求が特にこの数年高まっています。

KOAは、この長期信頼性に応えられる新製品として、耐環境特性に優れた各種抵抗器を開発しました。耐熱性が求められる車のエンジンルームに適した高耐熱チップ抵抗器、排気ガス・大気汚染など腐食性ガスに対応する耐硫化チップ抵抗器、水回り



機器・植物工場・屋外用機器用の耐湿性チップ抵抗器などです。これらの価値ある新製品を将来の有望市場へ積極的に提案していきます。

これら長期信頼性製品はほんの一例で、KOAはこれからも、抵抗器づくりの長い歴史の中で積み上げてきた基盤技術をさらに磨きながら先端研究機関やパートナー企業様とのオープンイノベーションを進めることにより、お客様と一緒に新たな価値の創造を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年6月

コア  
**KOA株式会社**

代表取締役社長 花形 忠男

## 営業の概況

### 2016年度の実績

#### 売上状況

2016年（暦年）の全世界における固定抵抗器需要は3,140億円となり、昨年に比べ2%程度減少したものと推定しています。地域別に見ると、アジアでは、自動車や家電向けの需要が伸びましたが、各国の現地通貨に対して大幅な円高となった影響により減少、日本は、自動車や産業機器向け需要を中心に増加、北米は、産業機器向け需要は堅調でしたが、為替の円高により減少、ヨーロッパは、為替の円高によるマイナス影響がありましたが、自動車向け市場の拡大により増加しました。

KOAグループの売上高は、アジアでは、上期の売上が落ち込んでいましたが、下期は自動車や家電向け需要が急速に回復したことにより、年度では昨年並みとなりました。日本では、自動車向けや産業機器向けを中心に主要な用途のほぼすべての需要が好調に推移し、4%増加しました。北米では、産業機器向けは増加しましたが、自動車向け需要の停滞に加え、為替の円高影響もあり、7%減少しました。ヨーロッパでは、為替の円高影響があったものの、自動車向けが大きく伸びたことや、産業機器向けなどの増加により、3%増加しました。

#### 収益状況

当期業績は、売上高456億円、営業利益31億36百万円、経常利益33億23百万円、親会社株主に帰属する当期純利益25億63百万円となりました。対前期比では、売上高は1億37百万円（0.3%）増加、利益面では、営業利益5億45百万円（21.0%）、経常利益3億52百万円（11.9%）、親会社株主に帰属する当期純利益5億64百万円（28.3%）、それぞれ増益という結果になりました。

売上高については、USドル、ユーロ、アジア通貨の為替相場の変動によるマイナス影響がありましたが、実質的な販売量が増加し、増収となりました。

収益については、材料費低減、売上構成に占める高付加価値製品の増加などにより限界利益率が改善しています。

年間平均での当期の実績為替レートは、USドル108円67銭、ユーロ118円65銭となり、対前期比では、USドルでは11円45銭の円高、ユーロでは13円83銭の円高になっています。

為替の年間影響額は、USドルの1円の変動につき、売上高では約1億90百万円、営業利益では約1億20百万円の影響、ユーロは1円の変動につき、売上高約30百万円、営業利益約20百万円の影響があります。

当期の営業外収支は、受取利息・配当金などで1億87百万円のプラスになりました。

特別損益は、営業所移転に伴う土地の売却益で7億9百万円の特別利益を計上、また、環境対策引当金繰入額として4億2百万円の特別損失を計上いたしました。

#### 貸借対照表

当期末の総資産は718億59百万円となり、前期末に比べて26億90百万円増加しました。

流動資産は、「現金及び預金」が16億32百万円、売上債権が13億58百万円増加し、流動資産全体では32億25百万円増加しました。

固定資産は、営業所の土地売却、海外資産の為替換算により、「有形固定資産」が10億32百万円減少しましたが、投資有価証券の評価益により「投資その他の資産」が5億47百万円増加した結果、固定資産全体では5億35百万円減少しました。

流動負債は、仕入債務、未払法人税、引当金の増加などにより11億68百万円増加しました。

固定負債は、「従業員持株ESOP信託」制度の導入による借入金が発生し、2億2百万円増加しました。

純資産は、利益剰余金の増加により、13億20百万円増加しました。

## キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費及び売上債権の増加などにより41億1百万円の流入を確保することができました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出23億13百万円などにより15億49百万円の資金の流出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより9億29百万円の流出となりました。

これらの結果、当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、期首に比べ13億13百万円増加し、179億23百万円になりました。

## 研究開発費と設備投資、減価償却費

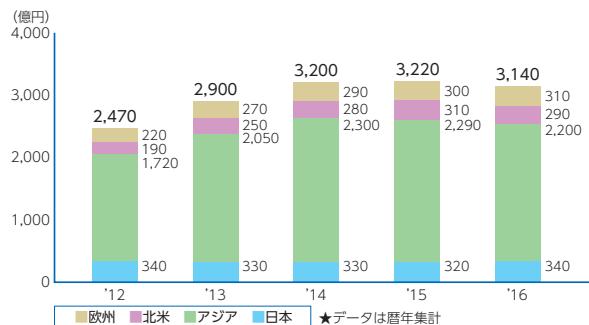
研究開発費は20億60百万円となり、対売上高比率は4.5%となりました。当社は引き続き、車載や産業機器などの高精度・高信頼性が求められる市場に注力していきます。2017年度の年間研究開発費は22億円となる見込みです。

2016年度の設備投資は22億72百万円となりました。投資内容は、自動化ラインの製作、新製品開発、品質向上のための機械装置が中心となりました。

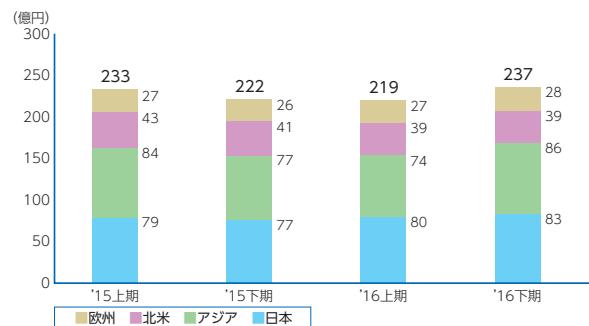
減価償却費は前年並みの23億44百万円となりました。

2017年度の年間設備投資額は35億円、減価償却費は23億円となる見込みです。

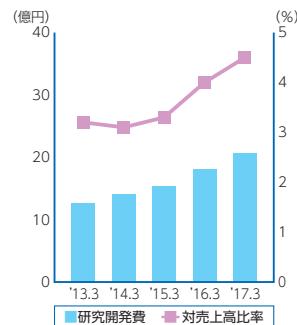
## 地域別固定抵抗器需要 (当社推定)



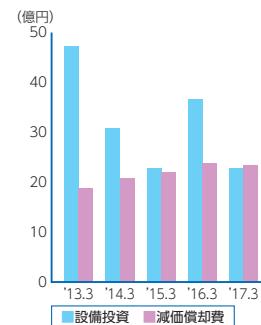
## 地域別売上高



## 研究開発費

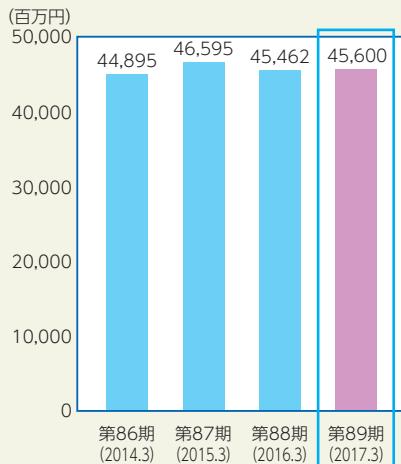


## 設備投資・減価償却費



# 営業の概況

## 売上高



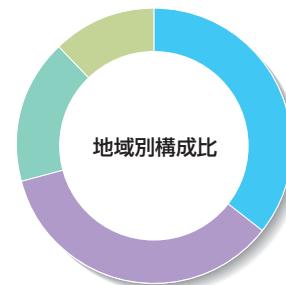
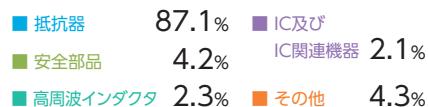
## 経常利益



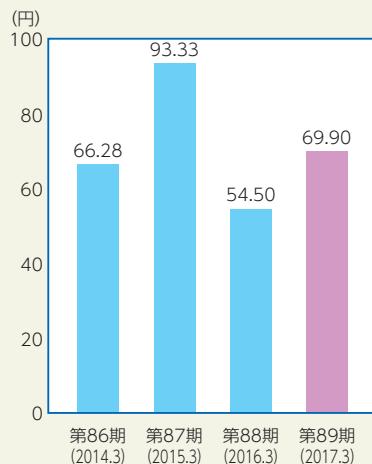
## 親会社株主に帰属する当期純利益



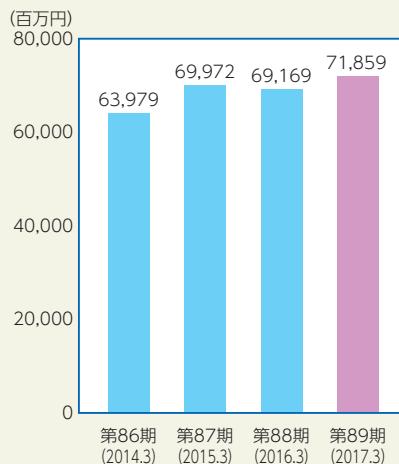
## 売上高構成比



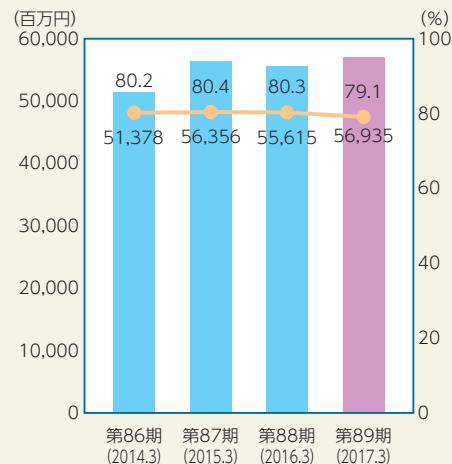
## 1株当たり当期純利益



## 総資産



## 純資産／自己資本比率



## 次期の見通し

今後の経済見通しにつきましては、全体として景気は緩やかに回復するものの、英国のEU離脱や米国新大統領の政策の実現性、北朝鮮問題等の地政学的リスクの高まりに伴う世界経済への下振れ影響、中国経済の減速懸念や新興国の景気低迷等により、世界景気の先行きの不透明感は引き続き高いものと考えられます。

当社グループの属する電子部品業界におきましても、次期の受注動向に対しては慎重な見方が必要であります。利益面においても、原材料価格の上昇、為替変動等の懸念材料があります。

このような状況を踏まえ、当社グループは、今後も抵抗器専業メーカーとして車載、産業機器、医療、環境・エネルギー等、品質と信頼性を重視する分野と、

今後の技術革新で市場成長が期待できる分野にフォーカスし、お客様のご期待にお応えしてまいります。

具体的には、技術革新等により今後の拡大が期待される市場において、技術提案活動等の強化によって高付加価値製品の販売比率を向上させることで事業構造の改革を進め、業績向上に努めてまいります。さらに、桁違いの品質を求められる市場での競争優位性を確保するため、引き続き「ゼロディフェクト・フローの構築」を全グループの目標に掲げ、品質・信頼性向上の活動を進めてまいります。また、経費削減活動と、生産性の大幅な向上を目指した改善活動の継続により、収益性の向上を図ってまいります。

## 連結決算の概要

## 連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 2017年3月31日現在	前連結会計年度 2016年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>40,447</b>	<b>37,222</b>
現金及び預金	19,379	17,747
受取手形及び売掛金	12,156	11,136
有価証券	1,214	1,012
たな卸資産	5,049	4,854
その他	2,674	2,498
貸倒引当金	△ 27	△ 27
<b>固定資産</b>	<b>31,412</b>	<b>31,947</b>
有形固定資産	22,404	23,436
無形固定資産	485	535
投資その他の資産	8,522	7,975
<b>資産合計</b>	<b>71,859</b>	<b>69,169</b>
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>9,970</b>	<b>8,802</b>
支払手形及び買掛金	4,184	3,814
短期借入金	237	529
その他	5,548	4,459
<b>固定負債</b>	<b>4,953</b>	<b>4,751</b>
長期借入金	382	40
その他	4,571	4,710
<b>負債合計</b>	<b>14,924</b>	<b>13,553</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>56,173</b>	<b>54,628</b>
資本金	6,033	6,033
資本剰余金	9,185	9,012
利益剰余金	43,776	42,239
自己株式	△ 2,821	△ 2,656
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>669</b>	<b>899</b>
その他有価証券評価差額金	1,780	1,387
為替換算調整勘定	△ 666	106
退職給付に係る調整累計額	△ 444	△ 594
<b>非支配株主持分</b>	<b>92</b>	<b>87</b>
<b>純資産合計</b>	<b>56,935</b>	<b>55,615</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>71,859</b>	<b>69,169</b>

## 連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 自：2016年4月 1 日 至：2017年3月31日	前連結会計年度 自：2015年4月 1 日 至：2016年3月31日
<b>売上高</b>	<b>45,600</b>	<b>45,462</b>
売上原価	31,492	32,140
売上総利益	14,107	13,322
販売費及び一般管理費	10,970	10,730
営業利益	3,136	2,591
<b>営業外収益</b>	<b>471</b>	<b>726</b>
<b>営業外費用</b>	<b>284</b>	<b>346</b>
<b>経常利益</b>	<b>3,323</b>	<b>2,971</b>
<b>特別利益</b>	<b>709</b>	<b>2</b>
<b>特別損失</b>	<b>517</b>	<b>140</b>
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>3,516</b>	<b>2,832</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>2,563</b>	<b>1,999</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 自：2016年4月 1 日 至：2017年3月31日	前連結会計年度 自：2015年4月 1 日 至：2016年3月31日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,101</b>	<b>4,397</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,549</b>	<b>△ 3,532</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 929</b>	<b>△ 1,025</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 309	△ 454
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,313	△ 614
現金及び現金同等物の期首残高	16,609	17,224
現金及び現金同等物の期末残高	17,923	16,609



詳しい財務情報はWebサイトのこちらでご覧いただけます

KOA IR

検索

## 「おてんとうさま」活動

### ■KOA環境方針

**出発点** どうしたら地球と調和した生き方ができるのか。

**理念** KOAは信州伊那谷に生まれ、育まれてきた企業です。お百姓がお百姓として自らのふるさとで生きていけるようにとの願いで、創立しました。  
電子部品の製造に携わりながらも、土と水とおてんとうさまとおつきあいのなかで学び、生きとし生けるものの一人として地球との間に信頼関係を築いていきたいと考えます。  
社員一人一人が自分たちをとりまく水系の命の循環に関心を持ち、「おてんとうさま」（環境マネジメントシステム）を自己責任のもと実践することで、わたしたちのふるさとを舞台に生物多様性を保全し、循環型社会のモデルを創造していきます。

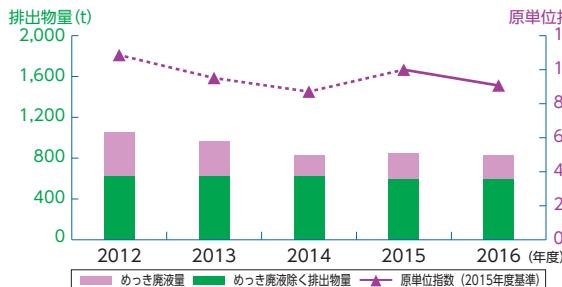
- 方針**
- 一、KOAは、開発・製造・販売活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確にとらえ、「おてんとうさま」（環境マネジメントシステム）を構築し、「おてんとうさま」の継続的改善及び環境汚染の予防を図る。
  - 一、KOAの環境活動は、社会環境対応を「おてんとうさま」活動とし、製品環境対応を品質保証活動として展開する。
  - 一、KOAの環境側面に適用可能な法規制、KOAが同意するその他の要求事項（お客様要求事項を含む）及び自主基準を順守し、環境マニュアル・品質マニュアルを基に全社員が自然環境に配慮した行動をする。
  - 一、本方針の理念に基づいて行動するため、環境に調和した業務や有限な資源の有効利用、環境負荷の少ない製品・工程、地球温暖化防止（省エネルギー）を追求し実現する環境改善活動を環境目的・目標の枠組みとして、毎年見直しをする。
  - 一、内部環境監査を実施し、自主管理による「おてんとうさま」の維持向上に努める。
  - 一、この環境方針は、KOA及びKOAグループにおいて、環境活動に携わる全ての人に周知し、環境意識の向上を図る。

2013年4月1日

KOA株式会社 代表取締役社長 花形 忠男

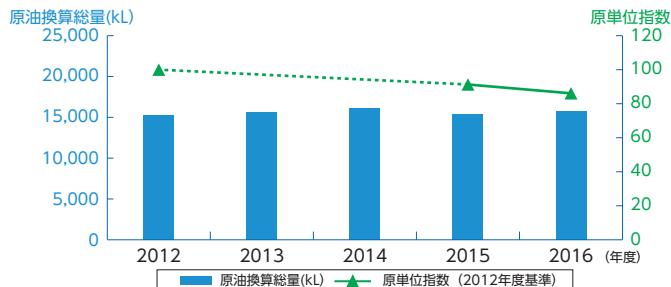
### ■「おてんとうさま」活動の成果

#### 1 有限な資源の有効利用



国内KOAグループでは、「有限な資源の有効利用・循環利用を追求した事業活動を実現する」(\*)活動の一環として、新たな目標「ゼロエミッションを維持し、生産量当たりの排出物量(原単位)を2015年度以下にする」を掲げ取り組みを始めました。この活動は、排出物の源流改善を推進していくもので、2016年度は製造条件見直しによる廃洗浄液や廃塗料の削減、モールドなど材料の歩留まり向上に着目した改善に取り組み、2015年度比9%低減することができました。

#### 2 地球温暖化防止



国内KOAグループでは、「低炭素化を追求した事業活動を実現する」(\*)活動の一環として、「使用エネルギーの原油換算原単位を2012年度比14%削減する」を掲げ省エネに取り組んでいます。ユーティリティ設備の計画的更新を継続しながら、レーザや焼成炉等の生産設備の高効率機器への更新・改良により2016年度は2012年度比14%削減することができました。更に改善点抽出のため工場・事業所における個々の設備の使用エネルギーの見える化(把握)の取り組みを始めました。

※2016年度から、新たな目標である「2020社会環境目標」を策定し、達成に向け取り組んでいます。

## 北九州研究所 開設から1年

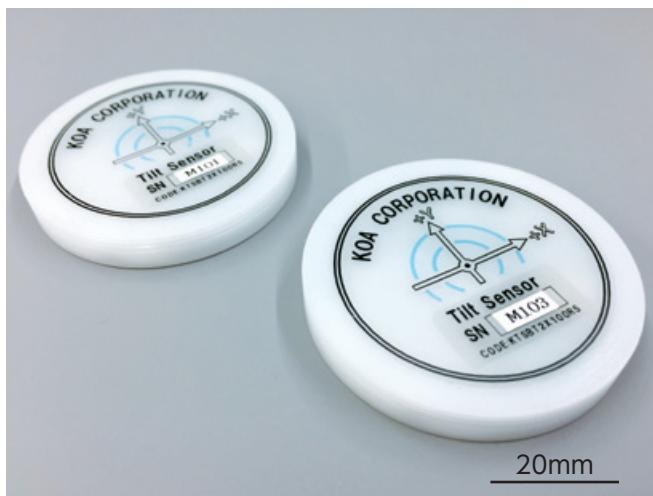
2016年4月に開設した北九州研究所では、大きなテーマとして水晶を利用したセンサモジュールの開発を行っており、現在は傾斜センサと水素センサの製品化に向けた取り組みが進んでいます。

傾斜センサは物体の傾きを測定するもので、よく目にするものでは気泡式水準器がありますが、目で見て確認する方式のため、微小な傾きを計測したり数値化したりする用途には向きません。高精度で数値化が可能な方式ではレーザー方式やサーボ方式がありますが、いずれも大型で高価格です。当研究所で開発している傾斜センサは水晶を櫛歯状に加工し、センサを傾けた際に発生する微小な静電容量変化により検出するもので、 $1/1000^\circ$ の分解能で傾斜を検出することが可能です。この傾斜センサに無線通信機能を持たせ電源を内蔵したモジュールを開発し、昨年開催された「センサエキス

ポジャパン2016」や「CEATEC JAPAN 2016」などに出席して好評を得ており、製品化に向けた市場からの期待が高まっています。

また、燃料電池自動車（FCV）、水素を供給するステーション、家庭用燃料電池など、近い将来に水素社会が訪れようとしています。開発中の水素センサは、低濃度の水素も検知可能で、微小な水素漏れを高精度に検知できます。開発した水素センサ素子の技術については、昨年11月、米国電気電子学会の権威あるIEEE SENSOR 2016で論文賞を受賞しました。なお、水素センサの開発は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の支援を受け行っています。

研究員を増員し、これらセンサモジュールの早期事業化を目指します。



傾斜センサ



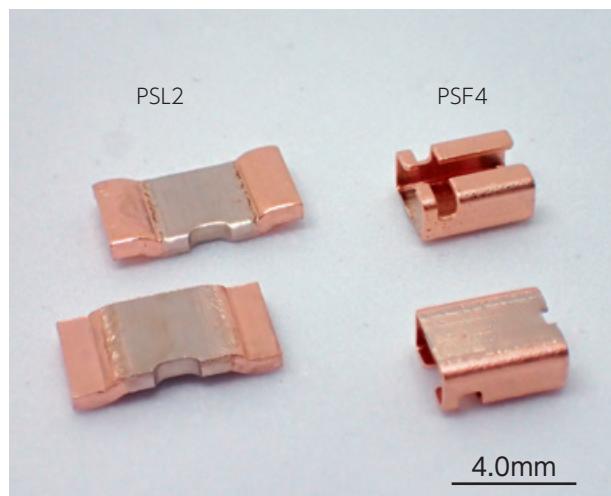
水素ガス漏れ検知器（NEDO事業試作機）

## 【新製品のご紹介】

世界各国で環境対応車のハイブリッド自動車や電気自動車などの開発が加速しています。これに伴い自動車各動力部の電動化も進んでおり、電子部品の搭載点数も増加の一途をたどっています。バッテリー、モーターなどでは正確に電流を検出し精度良く制御する必要があり、用途に応じて様々な電流検出用低抵抗器が求められています。大電流検出用抵抗器の開発ではKOAが保有する金属板抵抗の技術を生かした“シャント抵抗器”の製品展開を行っています。

### 大電流を高精度に検出

#### 小型パワーシャント PSL2/PSF4

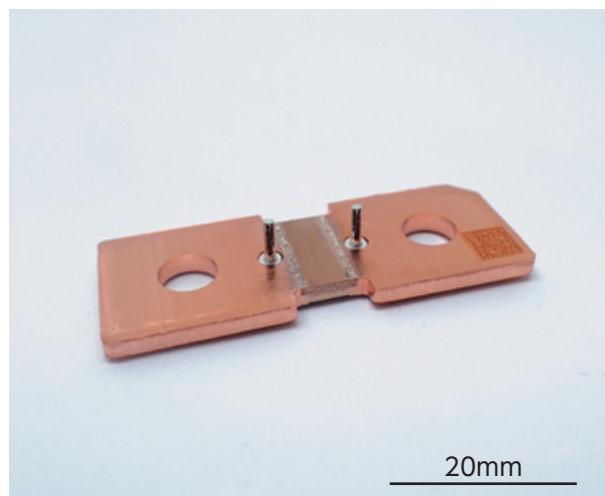


従来品よりもさらに小型化を行い、お客様の省スペース・小型・軽量の要求に対応します。PSL2は小型でありながら、163アンペアまでの大電流を高精度に検出可能です。PSF4は正確に電流を測定するための4端子構造でありながら、微細加工技術により3.0×4.0mmの小型化を実現しました。

PSL2/PSF4は-65~+175℃と幅広い温度環境下で使用が可能なため、自動車の各種ECU（電子制御ユニット）や産業用機器など幅広い用途でご使用いただけます。

### モーター駆動回路の超大電流に対応

#### 大電流シャント HS



自動車などで数百アンペアの超大電流が流れる経路では銅などの金属板（バスバー）が使用されます。超大電流の検出に使用されるシャントは一般的なはんだ付接続ではなく、バスバーに直接ネジ締めなどで接続します。HSは超大電流に対応するとともに、お客様の取り付け方法に応じて、形状をカスタマイズもします。また、温度変化が激しい環境でも精度良く電流が検出できます。

## 国内拠点紹介

## 国内営業2拠点が移転、一新しました



## ■ 日本営業ビジネスフィールド、 東京営業所、営業支援センター

神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-13  
KM第一ビルディング2F

国内営業を統括する日本営業ビジネスフィールド、その拠点のひとつ東日本営業センター東京営業所、営業支援センター業務グループ、商品販売グループが、東京都目黒区から神奈川県横浜市に移転し、2016年5月16日より業務を開始しています。

これらの拠点は、2002年に多摩電気工業株式会社（現 真田KOA株式会社）がKOAの子会社化されて以降は、同社が本社としてきた目黒区中根のビルに

事務所を置き、首都圏におけるKOAの営業活動の最前線基地として機能してきました。しかし、同ビルは築後半世紀近くが経過しており、老朽化、耐震性等の課題が浮上したことに加え、お客様とともにイノベーションに対応するためには手狭になったことから、新天地を求めることになりました。

移転先に選んだ新横浜には、2つの大きなメリットがありました。まず、KOAのお客様が近年R&Dや生産の拠点を都心からこの近郊へ移しており、新ビジネスに向けた活動が盛んで、自治体の研究機関等も多くあること。次に、新横浜は新幹線の停車駅があるだけでなく、今後高速道路の開発が進行、私鉄乗り入れで東横線に接続するなどインフラ整備が進み交通の便がよいことが挙げられます。

新横浜事業所は、新横浜駅から徒歩5分の場所にあります。木を多用したエントランスは、すっきりと都会的なデザインでありながら温もりにあふれています。室内は、広々としたワンフロアにそれぞれの機能が整然とレイアウトされ、業務が効率的に進むよう工夫されています。

この移転を機に、新たな価値をお客様と共創する研究開発型企业に向けた営業活動により一層磨きをかけていきます。





## ■ 興亜販売株式会社

東京都千代田区神田須田町1-7-9

VORT秋葉原maxim3F

興亜販売株式会社は2016年10月、東京都千代田区神田須田町にあった事務所を同町内の別のビルに移しました。

同社がある秋葉原は、KOA創業者・向山一人が東京で起業した直後に自らリアカーで抵抗器を売り歩いた街で、KOAの販売の“出発点”ともいえる場所です。1955年にはこの地に興亜電工株式会社（現 KOA）神田営業所が設置され、製品の小売と同時に問屋などを対象にした独自の「在庫販売」を展開して成功しました。その後神田営業所は、1962年に渋谷区恵比寿に新築された興亜電工ビルに統合されることとなります。秋葉原

にはしばらくの間当社の営業所はありませんでした。

当社創業期のゆかりの地であり、電機部品の街、電器商の街として戦後復興を象徴してきた秋葉原（千代田区外神田）にKOAの販売拠点が戻ってきたのは1974年のことです。この年、興亜電工の製品の販売強化に向けた販売網（ルート販売体制）の確立を目的に興亜販売を設立。関東地区を中心とした代理店13社が決まり、より幅広い販売活動がスタートしたのです。

設立当初の70年代、興亜販売は中小企業を対象に（大手企業は興亜電工が担当）産業機器市場へ売り込むと同時に、車載などの新分野を開拓しました。80年代には、これら2分野とともに市場が拡大してきたアミューズメント分野への販売に重点を置き、90年代にはさらに医療分野が重点市場に加わりました。現在は、省エネや車載の電子化等に対応した製品などの販売に力を入れています。

今回の移転は、以前のビルの老朽化が目立ち、事務所として手狭になったことによります。新たに入居したビルは2015年の竣工で、中央通りと靖国通りの交差点に位置します。これを見下ろす3階の事務所は大きな窓が確保され、明るく快適な空間です。エントランス、受付にはふんだんに木をあしらい、「こうあ木工舎」でつくったテーブルや抵抗器の木製模型を置くなど、代理店をはじめ大切なお客様を温かく気持ちよくお迎えできる空間になっています。また、社員にとっても明るく楽しく働ける職場を目指しました。



## 本社・技術拠点

**本 社** 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016  
KOAパインパーク内アースウイング  
〒399-4697 ☎ 0265 (70) 7171  
FAX 0265 (70) 7711

## 経営管理イニシアティブ

経営戦略センター ☎ 0265 (70) 7173  
FAX 0265 (70) 7992

総務センター ☎ 0265 (70) 7171  
FAX 0265 (70) 7711

人事教育センター ☎ 0265 (70) 7177  
FAX 0265 (70) 7711

知的財産センター ☎ 0265 (70) 7179  
FAX 0265 (70) 7712

情報システムセンター ☎ 0265 (70) 7275  
FAX 0265 (70) 7276

CSR推進センター ☎ 0265 (70) 7065  
FAX 0265 (70) 7994

## 技術イニシアティブ

☎ 0265 (70) 7175  
FAX 0265 (70) 7712

**伊 那 事 業 所** 長野県伊那市荒井3672  
〒396-8585 ☎ 0265 (78) 6622  
FAX 0265 (78) 5266

**West Wing** 長野県上伊那郡南箕輪村北原1634-17  
West Wing 〒399-4511

**品質保証イニシアティブ** ☎ 0265 (73) 9156  
FAX 0265 (78) 2128

**ハローウイング** 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016  
KOAパインパーク内 〒399-4697

**ものづくりイニシアティブ**  
生産戦略センター ☎ 0265 (79) 1481  
FAX 0265 (79) 1409

**北九州研究所** 北九州市若松区ひびきの2-1  
北九州学術研究都市  
産学連携センター408号室  
〒808-0135 ☎ 093 (883) 8226  
FAX 093 (883) 8251

## 営業拠点

**国際ビジネスフィールド** 横浜市港北区新横浜2-13-13  
KM第一ビルディング2F  
〒222-0033 ☎ 045 (476) 1800  
FAX 045 (476) 1809

営業支援センター ☎ 045 (476) 1809  
FAX 045 (476) 1809

**物流センター** 長野県上伊那郡南箕輪村北原1634-17  
South Wing 〒399-4511 ☎ 0265 (76) 9110  
FAX 0265 (76) 9138

**むさし野工房** 東京都府中市緑町2-17-2  
〒183-0006 ☎ 042 (336) 5300  
FAX 042 (336) 5353

**販売イニシアティブ** ☎ 042 (336) 5300  
FAX 042 (336) 5353

国際営業センター ☎ 042 (336) 5755  
FAX 042 (336) 5353



## (各営業所)

仙台営業所 仙台市宮城野区榴岡5-12-55NAVISビル5F  
〒983-0852 ☎ 022 (292) 3303  
FAX 022 (292) 6606

水戸営業所 茨城県ひたちなか市足崎字西原1445-31  
〒312-0003 ☎ 029 (273) 4651  
FAX 029 (274) 8824

高崎営業所 群馬県高崎市和田町2-3東邦ビル4F 401号室  
〒370-0847 ☎ 027 (320) 8760  
FAX 027 (320) 8766

むさし野営業所 東京都府中市緑町2-17-2  
〒183-0006 ☎ 042 (336) 5757  
FAX 042 (336) 5353

東京営業所 横浜市港北区新横浜2-13-13KM第一ビルディング2F  
〒222-0033 ☎ 045 (476) 1820  
FAX 045 (476) 1814

伊那営業所 長野県伊那市荒井3672  
〒396-8585 ☎ 0265 (78) 6622  
FAX 0265 (78) 5266

静岡営業所 静岡県駿河区馬淵3-2-25 TKビル5F  
〒422-8063 ☎ 054 (282) 5166  
FAX 054 (282) 5466

名古屋営業所 名古屋市長栄区社台3-230ランドビル4F  
〒465-0092 ☎ 052 (774) 2821  
FAX 052 (774) 2891

大阪営業所 大阪市淀川区西中島7-1-5辰野新大阪ビル6F  
〒532-0011 ☎ 06 (6885) 0822  
FAX 06 (6885) 6388

西山工場 長野県伊那市西箕輪2445  
〒399-4501 ☎ 0265 (73) 7166  
FAX 0265 (73) 6112

MINOWAウイング 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016  
KOAパインパーク内  
〒399-4697 ☎ 0265 (79) 8471  
FAX 0265 (79) 7079

中央工場 長野県上伊那郡南箕輪村5061  
〒399-4511 ☎ 0265 (77) 3513  
FAX 0265 (72) 4397

七久里の社 長野県下伊那郡阿智村春日1088-1  
〒395-0301 ☎ 0265 (45) 1711  
FAX 0265 (45) 1717

匠の里 長野県飯田市桐林2441-1  
〒399-2565 ☎ 0265 (26) 7701  
FAX 0265 (26) 7732

## 国内グループ会社

## 興亜エレクトロニクス株式会社

長野県下伊那郡阿南町西条733 〒399-1504  
☎ 0260 (22) 2261 FAX 0260 (22) 3356

## 興亜販売株式会社

東京都千代田区神田須田町1-7-9VORT秋葉原Maxim3F 〒101-0041  
☎ 03 (3255) 5521 FAX 03 (3251) 7648

## 真田KOA株式会社

長野県上田市真田町長5688-6 〒386-2201  
☎ 0268 (72) 3770 FAX 0268 (72) 8231

## 鹿島興亜電工株式会社

石川県鹿島郡中能登町武部は部11 〒929-1802  
☎ 0767 (76) 1111 FAX 0767 (76) 0500

## 日本電子応用株式会社

富山県砺波市矢木137 〒939-1317  
☎ 0763 (33) 5700 FAX 0763 (33) 5755

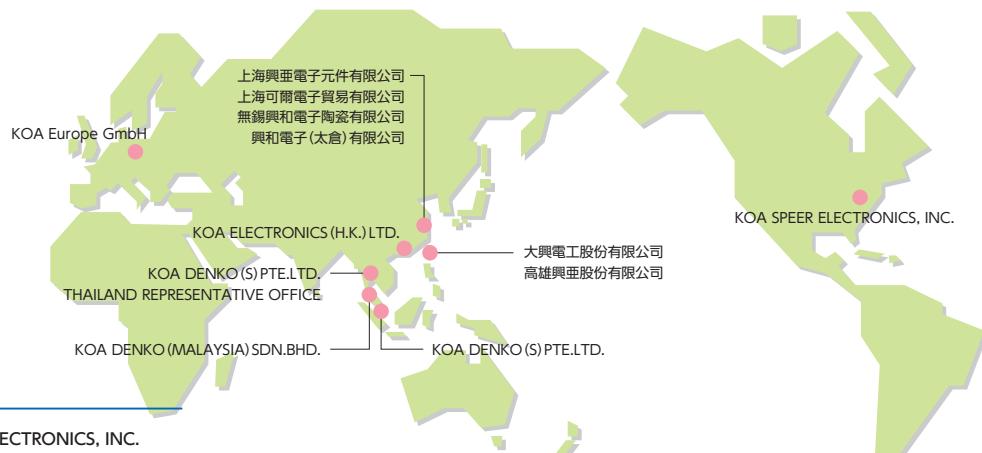
## 興亜化成株式会社

長野県伊那市御園180-2 〒396-0022  
☎ 0265 (72) 7264 FAX 0265 (76) 0006

## 生産拠点

イーストウイング 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016  
KOAパインパーク内  
〒399-4697 ☎ 0265 (79) 9080  
FAX 0265 (79) 9079

箕輪工場 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪8633  
〒399-4601 ☎ 0265 (70) 5390  
FAX 0265 (79) 8980



## 海外の拠点

### アメリカ/KOA SPEER ELECTRONICS, INC.

199 BOLIVAR DRIVE BRADFORD PA  
16701 USA

☎ (1) 814-362-5536  
FAX (1) 814-362-8883

### ドイツ/KOA Europe GmbH

KADDENBUSCH 6  
D-25578 DÄGELING ITZEHOE GERMANY

☎ (49) 4821-89890  
FAX (49) 4821-898989

### マレーシア/KOA DENKO(MALAYSIA)SDN.BHD.

LOTS 7,8&9 BATU BERENDAM, FTZ  
75350 MELAKA, MALAYSIA

☎ (60) 6-2328031  
FAX (60) 6-2313171

### シンガポール/KOA DENKO(S)PTE.LTD.

72 BENDEMEER ROAD #06-28  
LUZERNE SINGAPORE 339941

☎ (65) 63395151  
FAX (65) 63398556

### タイ/KOA DENKO(S)PTE.LTD.

THAILAND REPRESENTATIVE OFFICE  
38 Q.HOUSE CONVENT BLDG.7TH FLOOR  
UNIT 7CD, CONVENT RD.,SILOM, BANGRAK,  
BANGKOK 10500 THAILAND

☎ (66) 2632-0382  
FAX (66) 2632-0903

### 中国/上海興亜電子元件有限公司

中国上海市漕河泾新興技術開發区桂平路581号

☎ (86) 21-64850723  
FAX (86) 21-64852960

### 中国/上海可爾電子貿易有限公司

中国上海市漕河泾新興技術開發区桂平路581号

☎ (86) 21-64320101  
FAX (86) 21-64320083

### 中国/無錫興和電子陶瓷有限公司

中国江蘇省宜興市和橋鎮西鋤村向山路1号

☎ (86) 510-87871645  
FAX (86) 510-87871626

### 中国/興和電子(太倉)有限公司

中国江蘇省太倉市太倉經濟開發区洛陽東路77号

☎ (86) 512-53561111  
FAX (86) 512-53561600

### 香港/KOA ELECTRONICS(H.K.)LTD.

UNIT 2315, METROPOLIS TOWER, 10  
METROPOLIS DRIVE HUNGHOM,  
KOWLOON, HONG KONG

☎ (852) 2492-6918  
FAX (852) 2492-7398

大興電工股份有限公司  
高雄興亜股份有限公司

### 台湾/大興電工股份有限公司

中華民國台北市南京東路1段34号平安大樓11樓

☎ (886) 2-25214166  
FAX (886) 2-25641859

### 台湾/高雄興亜股份有限公司

中華民國高雄市楠梓加工出口区開發路17之2号

☎ (886) 7-363-4157  
FAX (886) 7-363-4543

## 会社概要 (2017年3月31日現在)

### 会社概要

<b>社名</b>	コーア株式会社 (KOA CORPORATION)
<b>所在地</b>	本社 〒399-4697 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016番地 KOAパインパーク内アースウイング TEL：0265-70-7171（代表） （登記上の本店） 長野県伊那市荒井3672番地
<b>創立</b>	1940年3月10日（昭和15年）
<b>資本金</b>	6,033百万円
<b>事業内容</b>	各種電子部品の開発・製造・販売

### 取締役及び監査役

代表取締役会長	向山 孝一
代表取締役社長	花形 忠男
常務取締役	深野 香代子
取締役	林 琢夫
取締役	百瀬 克彦
取締役	野々村 昭
取締役	山岡 悦二
取締役	湯沢 優
※取締役	マイケル・ジョン・コーバー
常勤監査役	遠藤 和夫
監査役	澤 良一
※監査役	上拾石 哲郎
※監査役	重宗 信行

(注) ※印の取締役及び監査役は社外役員であります。

### KOAのIRサイトをご覧ください



IRサイトTOP



財務ハイライト



営業の概況

### 決算関連資料のご案内

事業報告書・中間事業報告書のバックナンバーなど資料のご提供の用意がございます。ご希望の方は下記あてにご照会ください。

**事業報告書・中間事業報告書 |  
決算短信 | 四半期決算短信**

#### 【お問い合わせ】

KOA株式会社 経営管理イニシアティブ  
総務センター

**TEL:0265-70-7171  
FAX:0265-70-7711**

<http://www.koaglobal.com/ir>

# 株式の状況 (2017年3月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式の総数	40,479,724 株
株主総数	5,488 名

## 上場証券取引所

東京証券取引所 市場第一部  
名古屋証券取引所 市場第一部

## 大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
CREDIT SUISSE AG	3,461,200	9.34
日本生命保険相互会社	2,226,650	6.01
株式会社八十二銀行	1,832,400	4.94
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,452,100	3.92
CREDIT SUISSE AG SINGAPORE TRUST A/C FOR PHYCOMP HOLDING B. V.	1,279,700	3.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,277,500	3.44
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,227,813	3.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,000,000	2.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	916,000	2.47
BANK JULIUS BAER AND CO. LTD. SINGAPORE CLIENTS	871,900	2.35

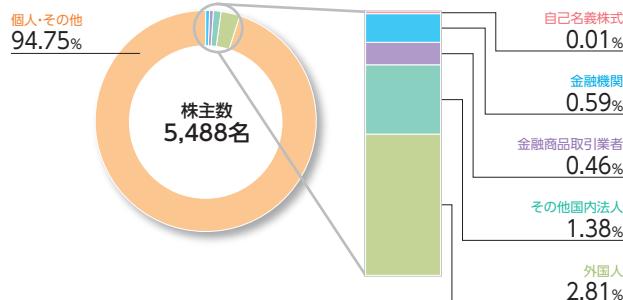
(注) 1. 当社は、自己株式3,424,527株を保有しておりますが、上記には記載しておりません。  
 なお、自己株式には、従業員持株ESOP信託が保有する当社株式371,000株を含んでおりません。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株式の分布状況

### 【所有者別持株比率】



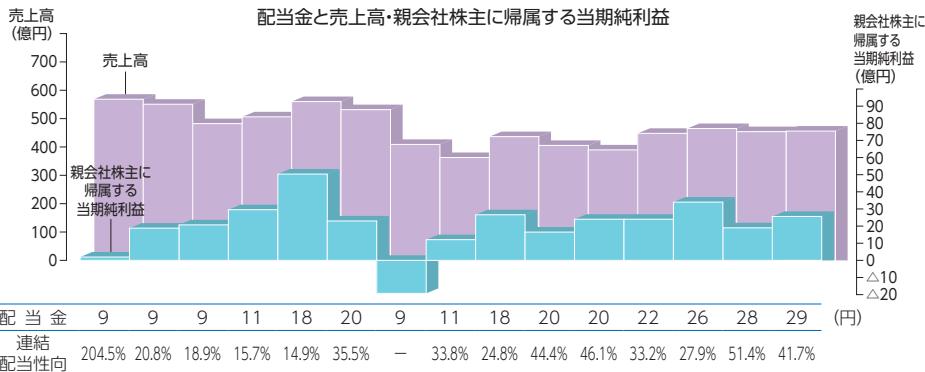
### 【所有者別株主比率】



## 連結配当性向

### <配当政策>

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要政策の一つと考えており、急速な技術革新に対応した設備投資や研究開発による競争力の維持・強化及び財務体質の強化を図ると同時に、配当水準の安定と向上に努めることを基本方針としております。



2003 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16 '17 (年)

# 株式の手続きに関するご案内

## ●特別口座で株式をご所有の株主の皆様へ

株券電子化により、すべての上場会社の株式は、証券会社などの口座管理機関の口座にて電子的に管理されております。株券電子化移行時点で、ご所有の株式を証券保管振替機構（ほふり）に預託されなかった株主様につきましては、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」を開設させていただいております。しかしながら、特別口座の株式につきましては、特別口座のままでは売買ができませんので、特別口座から証券会社口座への振替等をお願いいたします。

### ▶特別口座に記録されているかどうかのご確認方法について

下記、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問い合わせください。

### ▶特別口座から証券会社口座への振替方法について

特別口座に記録されている株式を市場にて売却される際には、証券口座へ振替のお手続きが必要となります。あらかじめ証券会社に株主様の口座を開設いただき、振替申請を行っていただきますようお願いいたします。

※すでに株主様が証券会社に口座をお持ちの場合は「② → ③」の手順のみとなります。



### ▶証券会社口座への振替以外に、売買を行う方法について（単元未満株式に限る）

当社は単元（100株）未満株式の買取・買増制度を採用しております。特別口座に記録された単元未満株式について当社へ買取または買増請求を行うことができますので、三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。なお、買増請求を行っていただき単元（100株）株式にされましても、特別口座では株式の売買ができませんので、証券会社口座を開設され、証券会社に振替えたうえで、単元株式になるようご請求※いただくことをおすすめいたします。

※証券会社口座に振替後のお手続きにつきましては、口座を開設された証券会社にご依頼ください。

#### 買取制度

ご所有の単元未満株式を当社が市場価格で買取らせていただく制度です。

#### 買増制度

ご所有の単元未満株式と併せて1単元株式（100株）となるように、株主様に当社から不足分の株式を市場価格でご購入いただく制度です。

《具体例》

株主様が現在70株をご所有の場合、当社を通じて30株をご購入いただき、合計100株とすることができます。



## ●お問い合わせ先

### 特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

（連絡先）

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711（通話料無料）

（窓口によるお取り次ぎについて）

三菱UFJ信託銀行 本店及び全国各支店においても受付けております。

## 年間 IR カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算発表	● 期末決算			● 第1四半期決算			● 第2四半期決算			● 第3四半期決算		
株主総会	● 招集ご通知発送 ● 定時株主総会											
配当金支払				● 期末配当			● 中間配当					
事業報告書	● 事業報告書発送						● 中間事業報告書発送					

## IRのお問い合わせ先はこちらです

電話：0265-70-7171

FAX：0265-70-7711

KOA株式会社

経営管理イニシアティブ総務センター

ホームページ内「お問い合わせ」

<https://www.koaglobal.com/contact/othersForm>

### 表紙の絵「木下の樺」(きのしたのけやき)

樹齢は千年とも伝えられ、高さ二六メートル、幹周一三メートル余の堂々たる大樹です。かつて芝宮と呼ばれた場所は今、木下北保育所の敷地となり、この樺が四方八方へ伸びやかに枝を広げた木陰では、子どもたちが元気に遊んでいます。(長野県上伊那郡箕輪町木下)



絵：今村由男  
長野県生まれ。日本版画協会会員

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
単元株式数	100株	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関		
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)	
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.koaglobal.com">http://www.koaglobal.com</a> ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	

### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記までお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。